

■中国：規制機関、次世代炉設計「AP1000」三門1号の燃料装荷を許可

大手メディアは2018年4月25日、原子力安全規制機関である生態環境部(旧環境保護部) 国家核安全局(NNSA)が同日、中国核工業集団(CNNC)が建設主体となり、国家電力投資集団公司傘下の国家核電技術公司が一次系を請け負った三門原子力発電所1号機(「AP1000」、100万kW級：ウエスチングハウス(WH)社製の次世代型PWR設計)の燃料装荷許可を交付し、同基の燃料装荷が開始される旨報じている。「AP1000」の中国への導入は、2006年米中両国政府の覚書に基づくもの。同型炉の燃料装荷は世界初となる。